

今後の見直し内容

事業名	マイナンバー制度の活用
事業所管部局	市民局 市民生活部 ICT政策課番号制度整備室
公開審議 における 議論の概要	<p>■マイナンバー制度の導入背景について (改革)この制度が導入されるに至った背景など、どう把握しているか。 (所管)多くの行政事務がコンピュータを用いて処理されているが、人物の同一性確認に相当手間を要していた作業の省力化による効率性向上の必要性がひとつ。また、市民の利便性という点で、転入時の手続き等で、これまで添付を求められていた前住所地の証明をわざわざ取得するプロセスを減らすことなどが挙げられる。 (改革)市域を超えた番号のやり取りとデータ利用などについて詳しく教えてもらいたい。個人番号カードには、どのようなデータが格納されるのか。 (所管)マイナンバーはいわゆる「分散管理」による運用されるもので、システム間において必要な情報を照会によりその都度取得する方式となる。また、個人番号カードの初期状態に格納されている情報は、住所・氏名等の基本情報など。 (改革)制度運用を任される市として、現在の準備状況は。 (所管)個人番号の通知は全国画一の処理となるが、これを請け負う「地方公共団体情報システム機構」に基本情報を渡す準備に取り掛かっている。また市民の問い合わせにしっかり対応するため、コールセンターも設置する。 (改革)庁内の組織としての対応体制はどのようか。 (所管)マイナンバーは様々な部門が関わるため、番号制度整備室を設置して全体調整や進捗の管理を行っている。</p> <p>■個人情報の保護とリスク管理について (改革)セキュリティ対策をもっと具体的に。 (所管)市でマイナンバーを保有する際には、特定個人情報保護評価(PIA)という事前評価を行うことが求められている。具体的には、マイナンバーを実際に利用するシステムのリスク管理について、第三者により様々な項目にわたって点検を行い、その結果を国に提出するという手続きになる。そこで一番重要なのは人的セキュリティということになる。この点では、市役所のあらゆる層にセキュリティの必要性を徹底するため研修等を行っているところ。 (改革)カードを保有している市民がそれを紛失もしくは失念したといった場合はどうなるのか。 (所管)紛失等により個人番号を悪用される恐れがあるときは、個人番号の変更が認められることになる。</p> <p>■市民サービス向上のための利用範囲の拡大について (改革)マイナンバーの独自利用に関して考え方を聞きたい。 (所管)この制度がスタートした当初は各自自治体による独自利用が積極的に検討されたが、広域利用の利便性の視点もあり、国に働きかけることも併せてやっていきたい。 (改革)市限りでの独自利用については、市役所内部でも検討を進めた経緯がある。 (所管)すべては「個人番号カード」の普及がカギとなる。 (改革)そのために市が現在行っていることは。 (所管)国レベルではここ数年の間の措置としてカード発行の無料化を決めている。市としては高校生に協力してもらい、パンフレット等の啓発物の作成を行っている。 (改革)カードの普及には民間部門との連携も効果的だと思うが。 (所管)やはりセキュリティが最大の課題となる。</p>
市民委員の 意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人が行うことには必ず誤りがあるということを心にとどめてほしい。 ・セキュリティ対策をしっかりやってもらいたい。 ・国の制度とはいえ、市としては市民のためにリスクを減らす独自の工夫をしてもらいたい。 ・行政コスト削減というが、新たな機器の導入コスト・管理コストが大きいのでは。 ・税の公平の観点から、導入意義は望ましいと思う。市民サービス向上については、魅力あるものを低予算で採り入れてほしい。 ・主婦にとっては税金等関係ないと思っていた。 ・災害等に利用されるというのであれば、納得はあります。 ・この制度も時代の流れなのだろうか。手続きの簡素化には期待するが、情報漏えいの部分については職員の自覚を徹底してほしい。 <p style="text-align: right;">(右ページへ続く)</p>

今後の見直し内容

<p>市民委員の 意見概要 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相続の時など原戸籍をたどるのが大変だった。移転経路がわかるということだろうか。 ・税関係の適用に限ることが良いのではないか。 ・実際にナンバーを取り扱う職員には、定期的な研修・意識づけが求められる。 ・新しい制度を始めることで、事務量削減ではなく増大につながることはありがちだと思うのだが。 ・各自治体からのアクセス過多で中央サーバーがダウンするなど考えられるのでは。 ・個人情報の流出事件は絶えず起こっているのが不安がぬぐえない。カード紛失時のリスクも心配。 ・いろいろな部署や組織がかかわるということで、煩雑すぎて施行する側に混乱が起きないか。 ・マイナンバーは個人が管理されてしまっている印象。 ・マイナンバーを悪意で他人が入手すると、どのような悪用が可能となるのだろうか。 ・独自利用といっても、範囲はそれほど広くならないのでは。 ・個人番号カードを常に身に着けているとも限らない。 ・行政コストの削減について、具体的な数字が知りたい。 ・リスクは「起こらない」ことを求める。
<p>傍聴者の 意見概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策、市民・議員への啓もう、市役所での横断的対応を考慮すると予算が少なすぎるのではないか。 ・企業の給与業務を通じ、相当なスピードでマイナンバーは浸透すると思う。そこで、税の徴収への利用も検討してほしい。 ・市民の理解不足による市への問い合わせがたくさんあると思う。わかりやすい説明手段の検討が必要だと思う。 ・膨大な情報を扱うため、便利な反面、リスクが非常に大きい制度だと思う。セキュリティは人間が作るものなので、必ず破られると思う。その時の被害を考えると不安。 ・新聞やテレビでセキュリティ対策について様々な指摘があるため、十分な対策を期待する。

◎公開審議結果などを踏まえた今後の見直し内容

- 市民への制度周知を徹底して行います。
- セキュリティ対策には万全の態勢で臨みます。
- 利用範囲の拡大について、市民サービスの向上に向けて検討を行ってまいります。

■市民への制度周知

アンケートには、これから実際どのように窓口で変わるのか、新聞報道等されていることはいつから始まるのかなどの意見もあり、現在、情報が氾濫している状態にあります。これらの情報を整理し、これから、何が、どのように変わるのかを、適宜、市報やホームページ、その他様々な広報手段により、市民に周知してまいります。

■セキュリティについて

セキュリティについては、「個人情報流出」、「リスク対策」、「個人番号カードの悪用」、「セキュリティ管理」などの不安の声が寄せられております。システム面のセキュリティ強化はもちろん、マイナンバーを扱う職員への研修等に重点を置き、職員の意識付けや、各事務でのリスク分析を行い、マイナンバー制度導入に万全の態勢で臨めるよう取り組んでまいります。

■利用範囲の拡大について

利用範囲の拡大については、国の動向を注視し、市民の利便性向上に資するような検討がされること、また市民に説明ができるようなセキュリティ確保が重要だと考えます。

◎改革担当部局の見解

・法律に基づく制度として、国が決定した事務ということではありますが、そのうえでどこまで市民サービスの向上につなげることができるかという積極的な姿勢により、実現可能性のある独自利用について、今後も十分に検討を続ける必要があると考えます。